

令和8年度 第1回 国土技術政策総合研究所入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和8年6月19日（金） WEB 形式	
委 員	委員長 森本 章倫（早稲田大学教授） 委 員 石倉 毅典（公認会計士） 委 員 長井 宏平（北海道大学教授） 委 員 義経百合子（弁護士）	
審議対象期間	令和7年10月1日 ～ 令和8年3月31日	
事 案 の 抽 出	国土技術政策総合研究所が審議対象期間に発注した工事、建設コンサルタント業務等及び物品・役務の一覧表から、今回の抽出当番委員である長井委員により事前に無作為の方法により抽出されたものである。	
抽 出 事 案（審議順）		
区 分	件 名	
物品役務等		
一般競争入札方式	① 能登町において災害時下水道に用いられた応急復旧技術に関する情報の収集・整理業務 ② 電磁波レーダ探査機他購入	
一般競争入札方式 （総合評価落札方式）	③ R7国総研（旭）自動電話交換装置1式製造	
建設コンサルタント業務等		
随意契約方式 （簡易公募型（拡大型） プロポーザル方式）	④ 浸水センサの活用拡大に向けた調査業務 ⑤ 河道閉塞対策ナビゲーションシステム基本設計業務 ⑥ 道路データプラットフォームのデータ連携・機能改良等業務 ⑦ パラメータスタディによる街区における火災及び避難安全性分析業務 ⑧ 3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）等改定に係る現場検証結果等整理業務	
委員会からの意見・質問それに対する説明・回答	意見・質問	説明・回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	な し	

意 見 ・ 質 問	説 明 ・ 回 答
【報告事項】 (1) 入札・契約手続の運用状況報告 (2) 指名停止等の運用状況報告 (3) 再度入札における一位不動状況報告 (4) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告 (5) 一者応札の発生状況報告 (6) 不調・不落の発生状況報告 (7) 高落札率の発生状況報告 【抽出事案】 (1) 能登町において災害時下水道に用いられた応急復旧技術に関する情報の収集・整理業務 (2) 電磁波レーダ探査機他購入 ・1台購入とのことだが、災害時における空港の早期再開に向けた調査等の用途を考えると、1台では十分に対応できないのではないか、また、調達の効率性の観点から、複数台を購入した方が効率的ではないか。 (3) R7国総研（旭）自動電話交換装置1式製造 ・交換前の交換機について、設置した翌年に製造中止、部品の供給も5年で終わっているが、設置した時点で想定されていたものか。	意見・質問なし 意見・質問なし 意見・質問なし 意見・質問なし 意見・質問なし 意見・質問なし 意見・質問なし 意見・質問なし 意見・質問なし ・まずは試験フィールドや空港の実地を使用して研究データを収集し、評価方法を確立したうえで、将来的には各空港管理者への展開を図ることを想定していることから、現時点では研究用として1台を調達したものである。 ・機器の更新時期はメーカーによって異なり、一般的には10年から15年程度のサイクルで更新が行われているが、設置した時点で製造中止を予測することは困難であった。

意 見 ・ 質 問	説 明 ・ 回 答
・ 製造のため、今後の維持管理やメンテナンスに要するコストが発生すると考えられるが、評価に当たって当該コストは何か加味されているのか。	・ 前回設置した交換機は従来型であった一方、今回設置した交換機はIP電話方式を採用したものであり、新しい今の形式に変わっているため、メンテナンスコストは下がっていると考えている。
(4) 浸水センサの活用拡大に向けた調査業務	意見・質問なし
(5) 河道閉塞対策ナビゲーションシステム基本設計業務 ・ 資格要件の見直し等により応募しやすい工夫をしたとの説明があったが、結果的に1者応札となったことについて、参加しなかった事業者に対し応募しなかった理由の確認は行ったか。 ・ TECRIS等に登録された事業者が複数存在するにもかかわらず1者応札となったことを踏まえ、今後同種業務を発注する際に参加者を増やすためにどういった工夫が考えられるか	・ 不参加事業者へのヒアリングは実施していない。 ・ 年度末に近い時期の発注となったことが影響した可能性があり、改善すべき点であると認識している。
(6) 道路データプラットフォームのデータ連携・機能改良等業務 ・ 既存のデータプラットフォームの機能拡張に関するものであり、従前から当該システムを管理している事業者が受注したのではないかとと思われるが状況はいかがか。 ・ 保守業務や機能拡張を含む一体的な業務内容では既存事業者が有利となり、新規事業者の参入が難しくなる可能性があることから、追加機能部分をモジュール化して分離発注するなど、競争性を高める工夫については検討したか。	・ 従前の業務を受注していた事業者と同一の事業者が受注している。 ・ 色々な者の工夫を求めていきたいと考え、基本設計書や詳細設計書を公開するなど参入しやすい環境を整えたものの、結果的には1者であった。保守業務と機能拡張業務の分離発注については、そこまでの検討には至らなかった。

意 見 ・ 質 問	説 明 ・ 回 答
・ 今後も継続的な機能追加や改良が想定されるが、今回単年度契約とした理由と、今後、複数年度契約の対象となり得るような業務と考えているか。 (7) パラメータスタディによる街区における火災及び避難安全性分析業務 ・ 割と多くの事業者の応募がありそうな業務に思えたが、結果として1者応札、不調となっている要因について何か考えられるものはあるか。 (8) 3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）等改定に係る現場検証結果等整理業務	・ 今回は幅広く事業者の提案を求める観点からプロポーザル方式を採用したが、昨年度も1者応募であり、同様の継続的な業務については今後複数年度契約の活用も検討する必要があると認識している。一方で、本業務は補正予算を財源としているため翌年度以降の予算措置が確実ではなく、複数年度契約とした場合に事業者の不確実性を負わせる懸念もあったことから、今回の発注方式とした。 ・ 建築基準法における集団規定に関する分野であり、建築分野と都市計画分野の中間領域に位置することから、この辺りのスケールの分野を扱える事業者が非常に少ない状況なのではないかと考えられる。 意見・質問なし
【総 括】 今回の「定例会議」の審議案件については、特に指摘すべき不適切な点、改善すべき点は、認められなかった。	

抽 出 事 案 一 覧

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加 者 数	契約締結日	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額 (単位：千円)	落 札 率 (単位：%)
能登町において災害時下水道に用いられた応急復旧技術に関する情報の収集・整理業務	役務の提供等	3	2	R7.12.17	(株)東京設計事務所	2,200	71.43%
電磁波レーダ探査機他購入	物品の販売	1	1	R8.2.20	KEYTEC(株)	4,730	98.90%

(一般競争入札方式(総合評価落札方式))

業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加 者 数	契約締結日	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額 (単位：千円)	落 札 率 (単位：%)
R7国総研(旭)自動電話交換装置1式製造	役務の提供等	2	2	R7.11.21	扶桑電通(株)	90,200	76.92%

【建設コンサルタント業務等】

(簡易公募型(拡大型)プロポーザル方式)

業 務 名	業種区分	技術提案書の 提出者の選定数	技術提案書の 提 出 者 数	契約締結日	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額 (単位：千円)	落 札 率 (単位：%)
浸水センサの活用拡大に向けた調査業務	建設コンサル (土木)	2	2	R7.11.10	(株)建設技術研究所	17,985	100.00%
河道閉塞対策ナビゲーションシステム基本設計業務	建設コンサル (土木)	1	1	R8.2.27	日本工営(株)	17,996	100.00%
道路データプラットフォームのデータ連携・機能改良等業務	建設コンサル (土木)	1	1	R8.3.27	計量計画研究所・地域未来 研究所・NTTデータ設計共 同体	179,993	100.00%
パラメータスタディによる街区における火災及び避難安全性分析業務	建設コンサル (土木・建築)	1	1	R8.2.26	(株)都市環境研究所	8,910	98.30%
3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)等改定に係る現場検証結果等整理業務	建設コンサル (土木)	1	1	R7.10.31	(一社)日本建設機械施工 協会	19,987	98.75%